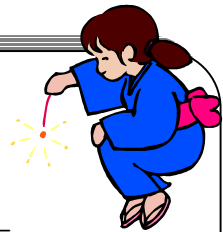


がくどうほいく ふなばし



2005年 第4号 市連協だより 2005年8月26日発行

船橋市学童保育連絡協議会 事務所 船橋市南本町31-5 047-433-9266

<http://homepage2.nifty.com/fghrk/>

キャンプ報告特集号

キャンプだ。ホイ！



がくどうキャンプ

IN小見川

7月30日31日に116名の参加でがくどうキャンプを行いました。

途中夕立にも見舞われましたが参加者全員で楽しく過ごす事が出来ました。初めての企画で十分な準備も出来ませんでした。参加者の皆様のご協力あり楽しいキャンプとなりました。

特に子どもたちの「楽しかった」とか「友達がたくさん出来た」という声がスタッフ一同の何よりも嬉しかった事です。

次回もと言う皆様の声を元に来年も企画したいと考えています。また皆様のアンケートを参考に企画を練って行きたいと思えます。次回は企画からの参加も募集しますのでよろしくお願いします。

この場を借りて参加者の皆様とスタッフの方々のご協力いただいた児童育成課の皆様へ御礼申し上げます。

がくどうキャンプの写真（CDのみ）とビデオ（DVD、VHS）の販売を予定しています。詳しくはホームページをご覧ください。



予告！ がくどうまつり2005

11月6日（日）天沼公園（予定）ただいま、実行委員募集中！



葛飾ルームは、茨城に行 ってきました。

7月30・31日に茨城県立白浜少年自然の家にて2005葛飾サマーキャンプが行われました。大型バス2台を駆使して、総勢91名(指導員3名を含む)の参加がありました。天候不順のためテント泊はできませんでしたが、体力的に難

易度の高いオリエンテーリング、カレーライス作り、火興し(葛飾風)、キャンプファイヤー、班対抗レク、親睦会等で大いに盛り上がった2日間でした。子供達の感想は勿論「楽しかった!また行きたい!」。暑さに負けず逞しい子供達の姿を見ることができました。

南本町ルーム どんごクラブ

夏合宿2005

今年も7月16日から18日まで2泊3日で奥多摩御岳山にて恒例の夏合宿を行いました。以前は夏休みに入ってからだったのですが、7月第3月曜が海の日として祭日になっている関係もあり、夏休み直前に行いました。(子ども達にとってはちょっと落ち着かない夏合宿なのではないでしょうか?)

当初は特に1年生の参加者が少ない事が懸念されましたが、直前の保護者会でのアナウンスが功を奏したのか1年生も7名が参加してくれて5年生まで子供が総勢25名、引率15名、総勢40名での夏合宿でした。

朝6時半に船橋駅へ集合して奥多摩へ向けて出発。梅雨明け前のため天気予報をずっと注意していましたが、直前まで夏合宿の週末は雨模様の予報。雨天で川遊びもキャンプファイヤーも中止になった2年前の悪夢が頭をよぎりましたが、何とか降られず無事に日原川で川遊びをし、お弁当を食べた後は御岳山へ向かいました。

ビジターセンターで木の実のブローチ作りを楽しんだ後は今年も宿舎としてお世話になる高名荘へ向かい初日も無事終了しました。

2日目は1・2年生と3年生以上に別れての山歩き、そのあとはお楽しみのかき氷とおみやげの買い物。そして夕食後は待望のキャンプファイヤー。夕食中にわか雨が降って心配しましたが時間前には無事あがりました。

3日目は徒歩下山組とケーブル下山組に別れて出発。ケーブル下駅で合流してみんなで帰路へ。三鷹駅でアイス休憩を取った後3時前に無事に船橋駅に到着しました。幸い雨にもふられず子ども達も楽しんで満足してくれた夏合宿でした。引率の大人も夜の反省会で親睦を深めてこれからの父母会活動のために有意義な情報交換が出来ました。これからも毎年続けたい恒例のイベントです。



行田（ジャングルクラブ）は、青野原へ

8月6～8日の2泊3日で、神奈川県津久井町の青野原キャンプ場にて、サマーキャンプを行いました。行田東、行田西、西海神、法典西ルームの合同開催で参加者は84名でした。ジャングルクラブのキャンプは現役児童と父母だけでなく、過去に在籍していた子どもたちとその父母中学生、高校生までも一緒に楽しめます。今年で26回目になります。



西船橋から班ごとに電車で相模湖までいき、貸し切りバスでキャンプ場まで行きました。子どもと親は別の班に入り、キャンプ中は班付きの親がペアレントになります。

川遊び、山登り、沢登り（滝にうたれました！）、きもだめし、キャンプファイヤー（火起こし、班ごとの出し物）カレー作り、バックドック（牛乳パックでホット

ドックをつくる）など、盛りだくさんの内容でしたが、2泊なのでゆとりがありました。

キャンプの歌（「キャンプだ。ホイ！」「ユメカシーラ」）が川沿いのキャンプ場にこだましました。子どもたちは学校を越えた新しい友達もでき、高学年はテントも立てられるようになりました。全員が「また来年も行きたい！」でした。

がくどう用語の基礎知識 行政編

いくせいか
【育成課】（名詞）放課後ルームを担当する市の「児童育成課」のこと。市役所3階、保育課隣の狭いスペースで鶴岡課長を先頭に、日夜、放課後ルームのために奮闘しています！

ありがとうございます！これからも頑張ってください。

【放課後ルーム園長】（名詞）放課後ルームを管理する人。

市内に19カ所ある「児童ホーム」の園長が兼務している。それぞれ一人で2～4ルームを管轄している。児童ホーム、放課後ルームなのに、「ホーム長」「ルーム長」とは呼ばず、なぜか「園長」。一般職としての採用で、保育士など児童にかかわる資格は問われません。

先月号の「がくどう用語の基礎知識」弁当編に、読者から、ご指摘がありました。追加します。

【パパべん】（名詞）パパの手作り弁当

まだまだ少数ですが、父も家族的責任を果たしています。もっと「パパべん」を！

ほのぼの保育報告



あまやどり 雨宿り

夏休み、子どもたちの楽しみのひとつと言えば、開放プール！今年の夏も暑い日が続いていたので、プール期間中は「今日もプール入るよね！」と、プールのたくさんの水で遊べることをみんなとても心待ちにしていました。

ある日、プールでいつものように「水中ジャンケン」「トンネルくぐり」「おにごっこ」「水中どろけい」など、思い思いにあそんでいると、だんだん雲行きが怪しくなってきました。夕立ちがきそうだったので、仕方なく少し早めにあがって帰る準備をすることに。

早足で帰る中、案の定雨がぱらぱらと降り出しました。この日はかきを持っていなかったので、途中で「バスタオルをかけて行くよ」とみんなに声をかけました。もう少しでルームに着く、といったところで一気に黒雲が広がり、もう待てない！という感じで、雨は勢いよく大粒になりました。ちょうど近くに雨宿りできるところを発見！みんなでその下に向けこみました。幸い、すぐくぬれる前に雨宿りできたので、そこでしばらく休んでいくことにしました。

「なんで雨降るんだよー」と雨を見ながらつぶやく2年生。そのとき「ねえねえ、私たち何かに似てない？」と1年生の女の子たち。さっき雨よけに使っていたスカートタオルをふたりとも顔にはめていました。「なんだろう??」と、しばらく考えていると、「わかった！千と千尋（の神隠し）のかおなしだ！」と2年生。「あー、なるほど。似てる似てる！」とまわりは納得の様子。でも、2人は「ちがうもん！」と納得いかない様子。その後もほかの答えが出ないので、「正解は？」と聞くと、「てるてるぼうずでしたー。」という返事。「(てるてるぼうずが)ふたりだから、いつもよりすぐやむよ」とにこにこでした。

その後、ふたりが言ったとおり、しばらくして雨は小ぶりになり、雲が切れ始めたかと思うと、あっという間にまた太陽が顔を出したのでした。「ね、本当だったでしょ」というふたり。急な雨でプールの時間は短くなってしまいましたが、その雨のおかげでちょっと楽しい雨宿りになりました。

(つるちゃん)

9月の定例会は、9月23日(祝)14:00～女性センターにて
交流のテーマは、「ルーム主催の親子参加行事について」です。

どなたでも、お気軽に、ぜひご参加ください。